



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イグニス

コード番号 3689 URL <http://1923.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 銭 鋳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 山本 彰彦

TEL 03-6408-6820

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	4,035	260.3	1,202	—	1,197	—	1,000	—
27年9月期第3四半期	1,120	△14.5	△313	—	△395	—	△443	—

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 994百万円 (—%) 27年9月期第3四半期 △438百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	162.90	155.51
27年9月期第3四半期	△72.90	—

(注) 平成27年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	3,873	2,426	60.5
27年9月期	1,966	1,238	62.8

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 2,345百万円 27年9月期 1,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	127.4	1,200	—	1,200	—	900	—	146.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成28年8月12日)公表いたしました「通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期3Q	6,235,700 株	27年9月期	6,133,700 株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	21,527 株	27年9月期	21,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期3Q	6,143,195 株	27年9月期3Q	6,079,893 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3.「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府及び日銀による財政・金融政策の継続を背景として引き続き企業収益や雇用情勢の改善がみられる等、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方で、中国経済の成長鈍化とそれを起因とする原油価格の急落及び欧州経済の減速懸念を背景に、世界規模で経済の先行き不安が継続しており、足元では急速な円高が進んでいることから、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な事業領域である国内スマートフォン向けアプリ市場は、スマートフォンの国内普及件数が国内携帯電話端末契約数の過半数を超え平成27年9月で7,237万件となり(注1)、依然として増加を続けていることを背景として、急速な拡大を続けております。国内スマートフォン向け広告市場については平成28年の市場規模が4,737億円に達する見込みであり、前年比で121%と予測されております(注2)。また、国内スマートフォン向けゲーム市場についても、平成28年の市場規模が8,238億円に達する見込みであり、前年比で113%と予測されております(注2)。

このような経営環境の中、当社グループは無料ネイティブアプリ(注3)及びネイティブソーシャルゲーム(注4)の2ジャンルを事業の柱とし、特に無料ネイティブアプリにおけるコミュニケーション領域及びネイティブソーシャルゲームに多くの経営資源を投入してまいりました。

(注) 1. 出典：株式会社MM総研[東京・港区]

2. 出典：株式会社CyberZ[東京・渋谷区]/シード・プランニング[東京・文京区]

3. ネイティブアプリとは、プログラムをApp StoreやGoogle Play等のプラットフォームを通じて端末にダウンロードして利用するアプリケーションのことであり、常時ネットワーク環境を必要とするブラウザアプリと比し、利用時のユーザーストレスが少ないことを特徴とするものであります。

4. ネイティブソーシャルゲームとは、ネイティブアプリのうち他のユーザーとコミュニケーションを取りながらプレイするオンラインゲームのことであります。

当社グループはスマートフォンアプリ事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。なお、ジャンルごとの取組みは以下の通りであります。

(無料ネイティブアプリ)

当社グループは、前連結会計年度より小規模サービス(注5)中心の開発体制から、中規模(注6)及び大規模(注7)中心の開発・運用体制へと移行しておりますが、当第3四半期連結累計期間は前連結会計年度にリリースしたweb版「with」を中心として、中規模・大規模サービスのユーザー積み上げに注力しております。なお、「with」については平成28年3月にios版を、平成28年5月にAndroid版をリリースしており、今後、MAU(注8)の増加を見込んでおります。また、大手出版社と連携して有名タイトルの無料漫画アプリをリリースいたしました。しかしながら、中規模・大規模サービスの多くが収益化を開始していないため、売上高が前年同四半期と比して大幅に減少いたしました。

また、平成27年10月に株式会社U-NOTEを買収し事業拡大を加速している他、米国現地法人による米国市場へのサービス投入や台湾・韓国市場への進出など、海外展開を引き続き行っております。

なお、前期まで独立したジャンルとして記載しておりました「全巻無料型ハイブリッドアプリ」は、第1四半期連結累計期間より当ジャンルに含めて記載しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は493,622千円(前年同四半期比14.4%減)となりました。

(注) 5. 開発期間が概ね1ヶ月程度のものであります。

6. 開発期間が概ね1ヶ月から3ヶ月程度のものであります。

7. 開発期間が3ヶ月超のものであります。

8. MAUとは、Monthly Active Usersの略で、ある月に1回以上、アプリの利用があったユーザー数のことであります。

（ネイティブソーシャルゲーム）

前期リリースした「ぼくとドラゴン」は引き続き順調に推移しております。当第3四半期連結累計期間は新規季節イベントや他社サービスとのコラボレーション、機能追加等を実施いたしました。今後もコンテンツの拡充及び運営チームによる多彩なイベントの実施等、開発及び運営双方に注力することで、さらなる成長の余地があるものと考えております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は3,541,899千円（前年同四半期比552.3%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,035,522千円（前年同四半期比260.3%増）、営業利益は1,202,960千円（前年同四半期は営業損失313,081千円）、経常利益は1,197,547千円（前年同四半期は経常損失395,926千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,000,710千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失443,213千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,873,714千円となり、前連結会計年度末に比べ1,906,848千円増加致しました。流動資産は2,550,482千円（前連結会計年度末比1,500,881千円増）となりました。主な増加要因は、売上高の増加及び関係会社株式の売却に伴い現金及び預金が1,321,076千円増加したこと、投資先への貸付により営業貸付金が70,000千円増加したことによるものであります。固定資産は1,323,232千円（前連結会計年度末比405,966千円増）となりました。主な増加要因は、子会社の買収に伴いのれんが93,203千円増加したこと、ネイティブソーシャルゲームの追加開発に伴いソフトウェアが162,618千円増加したこと、関係会社株式の売却に伴う持分法投資損失分の戻し入れにより投資その他の資産に含まれる長期貸付金が77,595千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は1,446,878千円となり、前連結会計年度末に比べ718,158千円増加致しました。流動負債は1,173,138千円（前連結会計年度末比564,011千円増）となりました。主な増加要因は、法人税等の計上により未払法人税等が509,006千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,426,836千円となり、前連結会計年度末に比べ1,188,689千円増加致しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,000,710千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年4月25日付の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました数値を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成28年8月12日）公表いたしました「通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、平成27年10月30日付で発行済株式の70.92%を取得した株式会社U-NOTEについて、連結の範囲に含めております。また、当第3四半期連結会計期間末において、平成28年6月1日付で発行済株式の22.22%を取得した株式会社mellowについて、実質的な支配関係が認められるため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	452,347	1,773,424
売掛金	374,694	411,578
営業貸付金	—	70,000
貯蔵品	10,509	8,617
その他	212,049	286,861
流動資産合計	1,049,600	2,550,482
固定資産		
有形固定資産	150,455	123,635
無形固定資産		
のれん	20,347	113,551
ソフトウェア	188,631	351,250
無形固定資産合計	208,978	464,801
投資その他の資産	557,831	734,795
固定資産合計	917,265	1,323,232
資産合計	1,966,866	3,873,714
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,621	21,124
短期借入金	130,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	—	83,360
未払金	182,152	162,811
未払法人税等	178,746	687,753
その他	103,607	118,089
流動負債合計	609,127	1,173,138
固定負債		
長期借入金	15,000	169,140
資産除去債務	104,593	104,600
固定負債合計	119,593	273,740
負債合計	728,720	1,446,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	562,641	621,566
資本剰余金	561,572	620,461
利益剰余金	156,880	1,157,591
自己株式	△51,774	△51,933
株主資本合計	1,229,319	2,347,685
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,311	△2,565
その他の包括利益累計額合計	6,311	△2,565
新株予約権	2,516	3,212
非支配株主持分	—	78,504
純資産合計	1,238,146	2,426,836
負債純資産合計	1,966,866	3,873,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,120,010	4,035,522
売上原価	503,831	647,406
売上総利益	616,178	3,388,116
販売費及び一般管理費	929,259	2,185,155
営業利益又は営業損失(△)	△313,081	1,202,960
営業外収益		
受取利息	915	1,769
法人税等還付加算金	728	—
雑収入	243	375
営業外収益合計	1,886	2,144
営業外費用		
支払利息	676	987
持分法による投資損失	83,478	4,561
雑損失	576	2,007
営業外費用合計	84,731	7,557
経常利益又は経常損失(△)	△395,926	1,197,547
特別利益		
関係会社株式売却益	—	590,154
特別利益合計	—	590,154
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	100,000
特別損失合計	—	100,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△395,926	1,687,702
法人税、住民税及び事業税	99,536	773,519
法人税等還付税額	△1,599	—
法人税等調整額	△50,650	△88,950
法人税等合計	47,287	684,568
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△443,213	1,003,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2,422
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△443,213	1,000,710

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△443,213	1,003,133
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,781	△8,877
その他の包括利益合計	4,781	△8,877
四半期包括利益	△438,432	994,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△438,432	991,833
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,422

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スマートフォンアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。